



一名大の巾紙

十七編上

13
3414
33



一節 姉妹
 秋の目せ
 仇なる友の
 まんじり見れ
 昔の水菜
 残の雪と
 書せり

右の唱は川をひきよめ
 夫々の魂を誘ふ末に
 村途を語り馬士飲多
 些月桂木過ては
 紙の文勢が不相
 後を争うるは

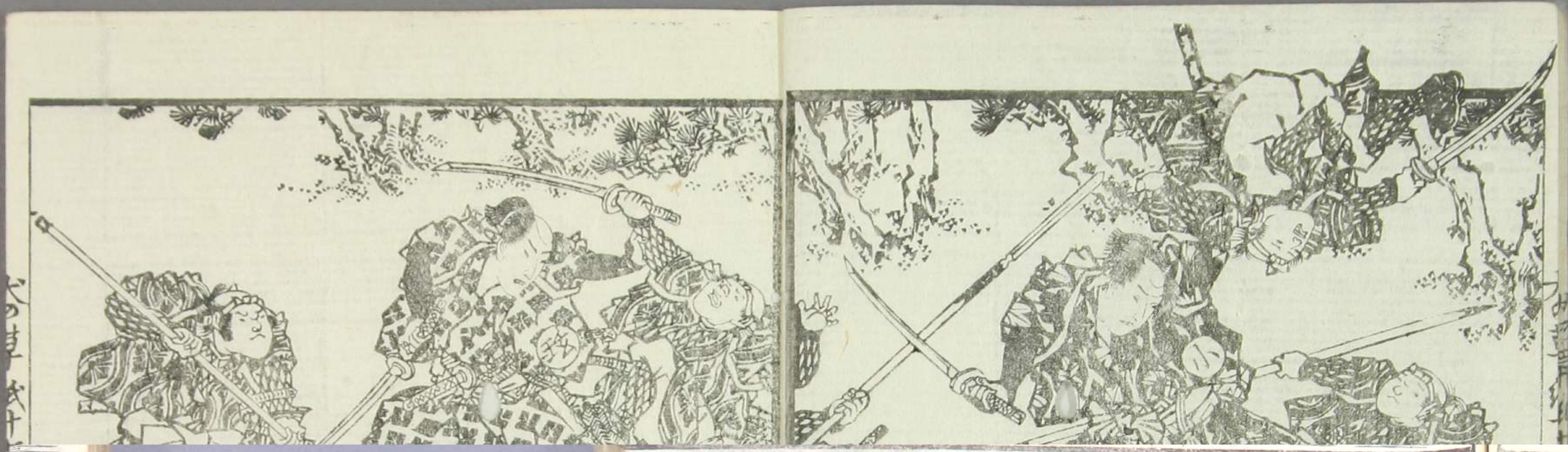
大山 道節
 十條氏 於利根
 乳母



荒草山月てとある
 名雲る夜の
 御の雨多
 郷遠くひ
 秋の意麻
 と風の便
 妹侯とを
 弁小
 外小

尺手
 引手
 辺郎

日本文
 文の
 俚語
 不書
 没
 措
 ん
 不
 在
 秋
 氏
 手



五のあはれは
 六のあはれは
 七のあはれは
 八のあはれは
 九のあはれは
 十のあはれは

一のあはれは
 二のあはれは
 三のあはれは
 四のあはれは

六のあはれは
 七のあはれは
 八のあはれは
 九のあはれは
 十のあはれは

一のあはれは
 二のあはれは
 三のあはれは
 四のあはれは
 五のあはれは



平があのおあつらへりて
 こととあひのりあつらへりて
 日えとあひのりあつらへりて
 わかちあつらへりて
 きんねとあつらへりて
 せんねのたうじつ
 ちんねのたうじつ
 くれおたうじつ
 ちんねのたうじつ
 せんねのたうじつ
 わかちあつらへりて
 きんねとあつらへりて
 せんねのたうじつ
 ちんねのたうじつ
 くれおたうじつ

左のりつあつらへりて
 せんねのたうじつ
 ちんねのたうじつ
 くれおたうじつ
 わかちあつらへりて
 きんねとあつらへりて
 せんねのたうじつ
 ちんねのたうじつ
 くれおたうじつ



みつらへりて
 せんねのたうじつ
 ちんねのたうじつ
 くれおたうじつ
 わかちあつらへりて
 きんねとあつらへりて
 せんねのたうじつ
 ちんねのたうじつ
 くれおたうじつ

ねがらへりて
 せんねのたうじつ
 ちんねのたうじつ
 くれおたうじつ
 わかちあつらへりて
 きんねとあつらへりて
 せんねのたうじつ
 ちんねのたうじつ
 くれおたうじつ



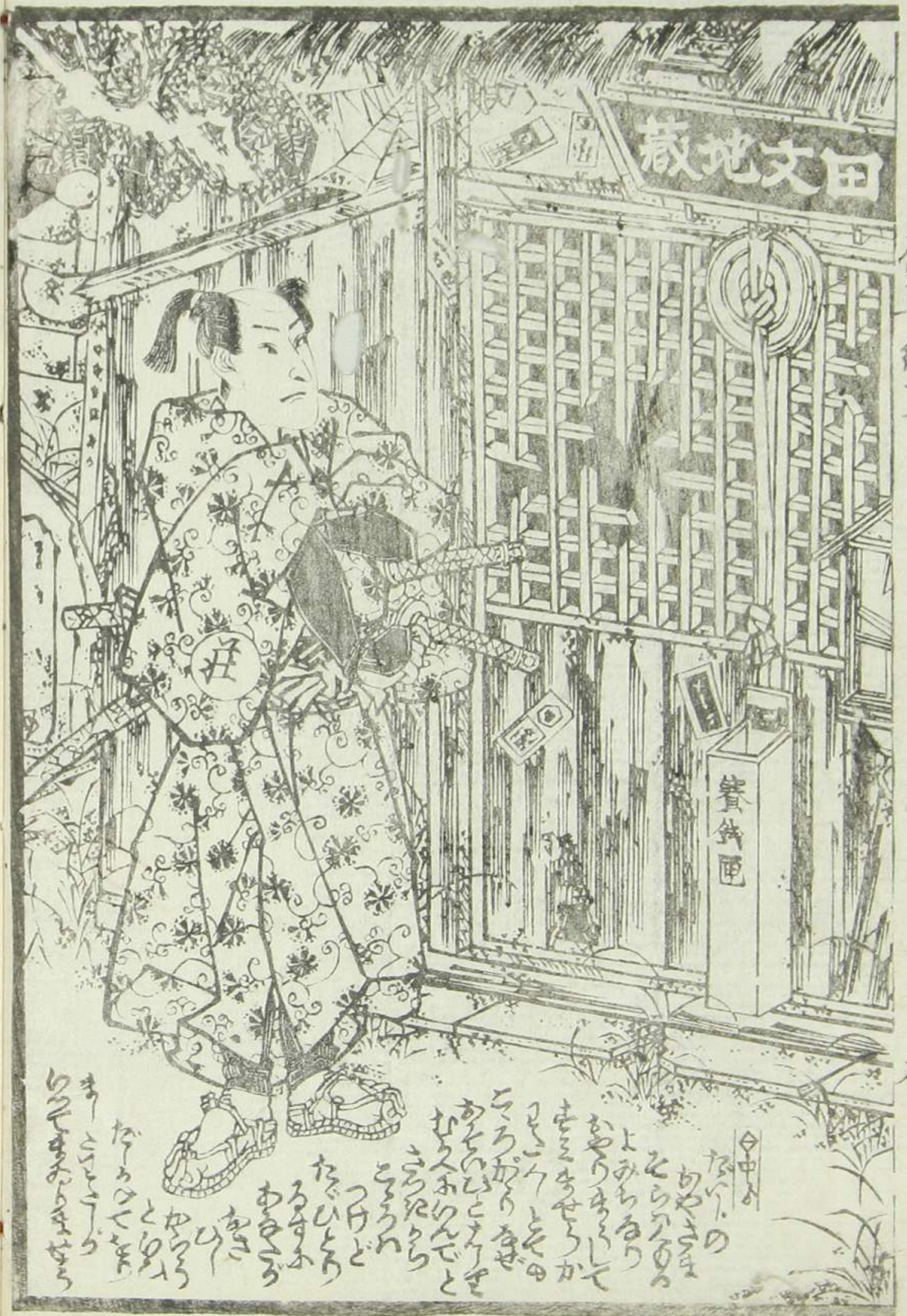
利
このやうな
ものには
なほ
あつた
りやう
な

このやうな
ものには
なほ
あつた
りやう
な
ものには
なほ
あつた
りやう
な



九草紙

このやうな
ものには
なほ
あつた
りやう
な
ものには
なほ
あつた
りやう
な
ものには
なほ
あつた
りやう
な



仙果録
 仙果録は、仙果の味を記す。仙果は、仙人の果也。其の味、清く甘く、人々を悦ばせしむ。故に、仙人の果と云ふ。其の果、多種あり。其の味、多種あり。其の果、多種あり。其の味、多種あり。

仙果録 豊國画

本家 實母散
 中橋 南傳馬町丁目東側 千葉堂孝痛製
 私方安田... 仙母散... 仙母散...

御免九痛精湯 せんちやう
せんちやうのゆめ
 御用藥所 田川上田東山堂製

仙母散 中橋 南傳馬町丁目
 仙母散 仙母散 仙母散

毎る以 七のちり 御葉 白美 仙果
 けろい 四十八銅 仙果 白美 仙果
 むろい 一色 仙果 白美 仙果
 あぐい 一色 仙果 白美 仙果
 ねらい 一色 仙果 白美 仙果





笠亭仙果鈔錄

一陽齋尊園画

十七編下

葛吉板

~13
3414
34

いぬ子



十子係

仙果係 下、巻
寺田出 廿七板



仙果係

仙果係... (Vertical text columns on the left side of the illustration, likely describing the scene or the person.)



仙果係

仙果係



おれはさやゆめは川か
ゆるぎとてやまの
うらたにたてておれ
ゆめはさやゆめは川か
ゆるぎとてやまの
うらたにたてておれ
ゆめはさやゆめは川か
ゆるぎとてやまの
うらたにたてておれ

おれはさやゆめは川か
ゆるぎとてやまの
うらたにたてておれ
ゆめはさやゆめは川か
ゆるぎとてやまの
うらたにたてておれ
ゆめはさやゆめは川か
ゆるぎとてやまの
うらたにたてておれ



おれはさやゆめは川か
ゆるぎとてやまの
うらたにたてておれ
ゆめはさやゆめは川か
ゆるぎとてやまの
うらたにたてておれ
ゆめはさやゆめは川か
ゆるぎとてやまの
うらたにたてておれ

おれはさやゆめは川か
ゆるぎとてやまの
うらたにたてておれ
ゆめはさやゆめは川か
ゆるぎとてやまの
うらたにたてておれ
ゆめはさやゆめは川か
ゆるぎとてやまの
うらたにたてておれ



Vertical Japanese text located below the illustration on the left page, likely a dialogue or narrative description.



Vertical Japanese text located above the illustration on the right page, likely a dialogue or narrative description.

Vertical Japanese text located below the illustration on the right page, likely a dialogue or narrative description.





あつたての
あつたての
あつたての

あつたての
あつたての
あつたての

あつたての
あつたての
あつたての

あつたての
あつたての
あつたての



あつたての
あつたての
あつたての

あつたての
あつたての
あつたての

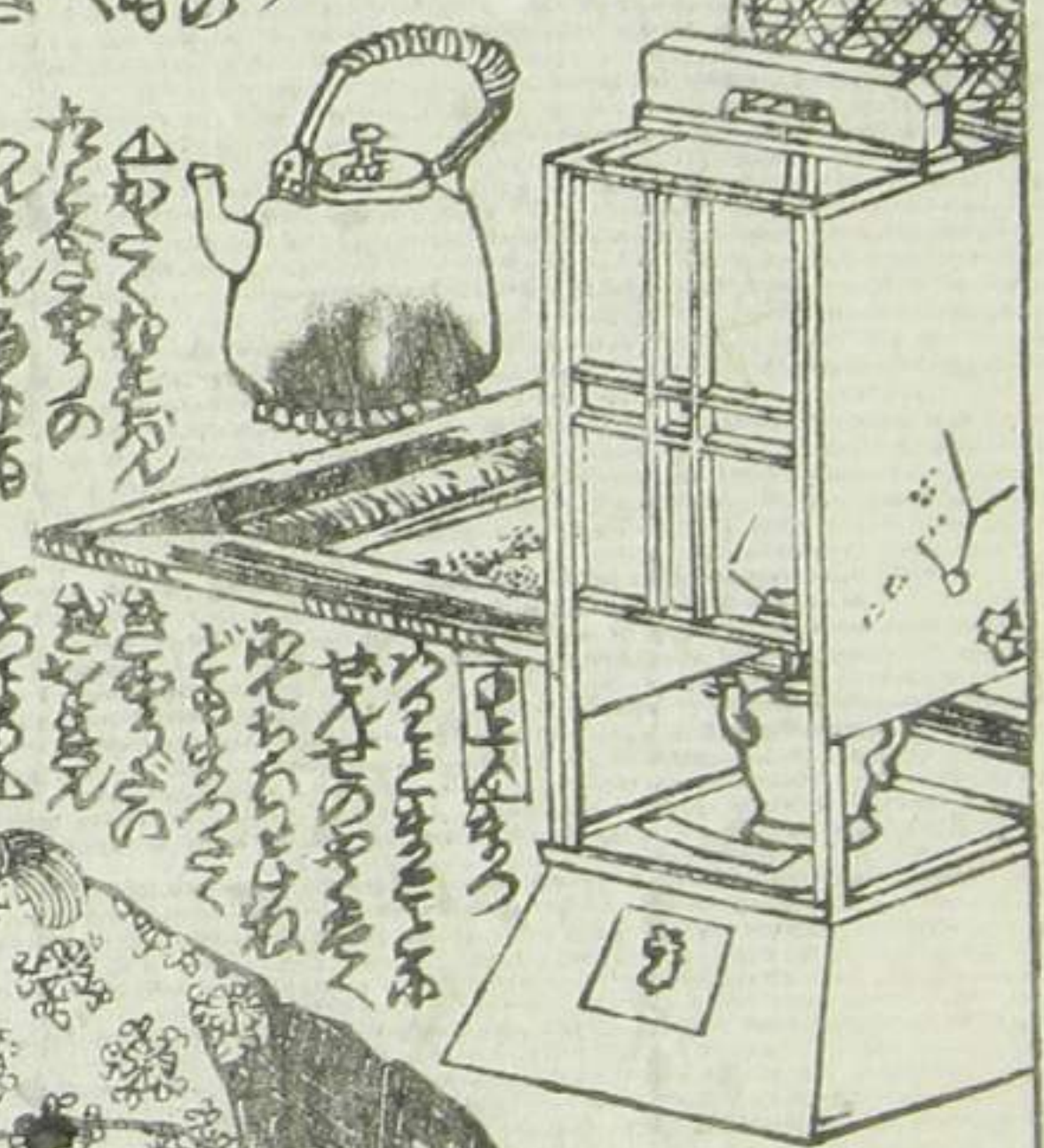
あつたての
あつたての
あつたての



Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration of two figures. The text is written in a cursive style.



Handwritten text in vertical columns, continuing the play script or commentary from the left page. The text is written in a cursive style.



嘉永五壬子新春新鑄目錄

大日本國郡輿地全圖 六枚はき	府郷御江戸繪圖 六枚はき	嶼巡浪間朝日奈 三編 種員譯 四編 國輝画	俠安傳你摸略説 六編 西馬譯 八編 國輝画	御寶心少年始 六編 一九録 七編 國輝画	名犬の草紙 十編 仙果録 十一編 豐國画	大晦日囃卓紙 七編 京山作 八編 國政画	新穀田舎物語 六編 一九録 七編 國輝画	連理翅山羅奇縁 初編 西馬補 二編 國政画	富士額天人於七 二冊 仙果作 芳虎画	春柳錦花四 三編 一九録 四編 國輝画	地本 錦繪 東都南傳馬町二丁目 萬屋吉藏
-------------------	-----------------	-----------------------------	-----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------------	--------------------------	---------------------------	----------------------------



豊國画仙果鈔録

豊國画仙果鈔録の巻一
 豊國画仙果鈔録の巻二
 豊國画仙果鈔録の巻三
 豊國画仙果鈔録の巻四
 豊國画仙果鈔録の巻五
 豊國画仙果鈔録の巻六
 豊國画仙果鈔録の巻七
 豊國画仙果鈔録の巻八
 豊國画仙果鈔録の巻九
 豊國画仙果鈔録の巻十
 豊國画仙果鈔録の巻十一
 豊國画仙果鈔録の巻十二
 豊國画仙果鈔録の巻十三
 豊國画仙果鈔録の巻十四
 豊國画仙果鈔録の巻十五
 豊國画仙果鈔録の巻十六
 豊國画仙果鈔録の巻十七
 豊國画仙果鈔録の巻十八
 豊國画仙果鈔録の巻十九
 豊國画仙果鈔録の巻二十



雷梅

芳禱

大の
おの
おの
おの

十
七
編

仙果抄録
豊國画

紅英山持



立身

13
3414
33-34